

21世紀・新たな未来の 創造に向けて

新年、明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、かねてから、県政の推進に多大な御支援・御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

現在、我が国は、グローバル化の急速な進展や本格的な人口減少、少子高齢化の進行など大きな変革期を迎え、これまで有効に機能していた様々なシステムが十分に機能しなくなっており、将来に對しての漠然とした不安感や閉塞感が強まりつつあります。加えて東日本大震災の被災地の復興、エネルギー・環境政策の再構築、不透明感を増す経済情勢や安全保障を巡る問題など多くの課題に直面しております。

このような時代状況にあつては、人々が将来に對して、安心して、自らの暮らしに明確な見通しや希望を持つて生活できるようにすることが重要であり、「子どもからお年寄りまですべての県民にとって優しく温もりのある社会の構築」がより一層求められているのではないかと考えております。

このため、3期目の県政運営を担うに当たっては、県民一人ひとりが生涯安心して働き、安定した生活を送ることができるよう、県民生活に直結する医療や福祉、介護、教育などの分野に特に重点を置いて、県民の暮らしの安定を図ることに全力を傾注してまいります。

さて、昨年は台湾との定期航空路線が就航し、本県とソウル・上海・台北の主要都市が直接結ばれるなど、九州新幹線全線開業に引き続き、環黄海経済圏をつなぐ高速交通ネットワークの充実が

図られました。また、本年は平成26年1月の桜島大正噴火100周年に合わせて、火山に関する国際的な学会や関連事業が開催されます。このような様々な機会を捉えて、国の内外を問わず「本物。鹿児島県」の多彩な魅力を積極的に情報発信し、交流人口の増大を図り、更なる県勢の浮揚発展に結びつけてまいりたいと考えております。

本県は、豊かな自然や個性ある歴史・文化、多様な食材など全国に誇れる「本物」の素材、南に開かれたアジアの玄関口としての地理的な優位性、我が国の食料供給基地としての役割等の発展可能性を有しております。これらを最大限に生かしながら、農業と観光を中心とした産業構造の高度化や再生可能エネルギーの積極的な導入・活用、快適で活力ある社会資本の整備などの諸課題にも取り組んでまいります。

今後とも、21世紀の新たな未来を創造するため、すべての県民が郷土に夢と誇りを持ち生涯を安心して過ごせるような「力みなぎる・かごしま」、「日本一のくらし先進県」の実現に向け、全力を挙げて取り組んでまいりますので、引き続き、県政に関心をお寄せいただき、御支援・御協力くださるようお願いいたします。

県民の皆様にとりまして、新しい年が希望に満ちた明るい一年となりますことを心から祈念いたします。



平成二十五年元旦
鹿児島県知事 伊藤祐一郎